

2021年春リリース Classi連携サービス

体験版

- ◆自分ごとになれる探究テーマをつくることをサポート
- ◆Classiご採用校であれば、お申し込みせずに利用が可能

実践版

- ◆体験版の次のステップ、実際のアクションにつなげるサポート
- ◆マイプロジェクトアワードへの参加権を付与

自己探究・地域探究に特化した実践型探究学習教材

Classi ×

マイプロジェクトサポート

powered by KATARIBA

自己探究・地域探究を「総合的な探究の時間」の授業の一環として実現することを目指し、認定NPO法人カタリバが自身のノウハウをClassi連携サービスとして教材化しました。



マイプロジェクトとは？

自分ごとになれるテーマから課題設定をして、つくりたい未来に向けたアクションの実行から学ぶ、自己探究・地域探究に特化した実践型探究学習



「マイプロジェクトサポート」は、
以下のような学校様の悩みを解決します！

総合的な探究の時間(総探)で何をしたらよいだろう？

これまでのキャリア教育、地域連携をいかした総探の設計に困っている

総探を始めただけで、生徒が自分ごとの課題設定ができない

探究と進路選択をつなげる方法に困っている

調査書や志望理由書を書けるようにしたいが、ポートフォリオの中身がないことに困っている

ポートフォリオの必要性を校内で説明できないことに困っている



Classi ×

マイプロジェクトサポート

powered by KATARIBA

特長 1 | 進路につながる「自分ごと」の課題を設定できる

特長 2 | 「アクション」を伴う探究活動で資質・能力を育成できる

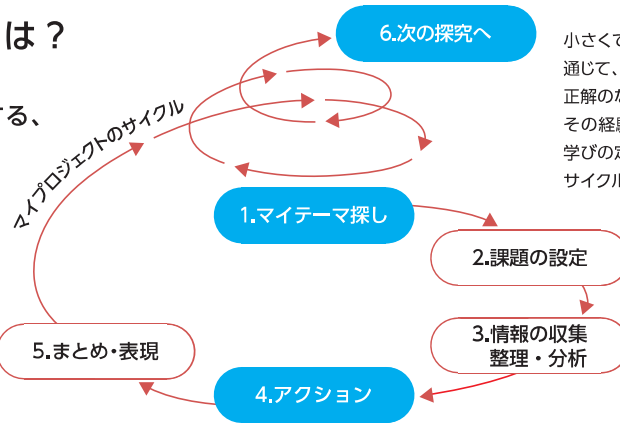
特長 3 | Classiを通じた「振り返り」と「学びの共有」を行うことができる

連携サービス料金: 1,540円(税込) 生徒1人あたり

※Classi採用校は、体験版をお申し込みをせずに利用可能

マイプロジェクトとは？

認定NPO法人カタリバが提唱する、自分ごとになれるテーマから課題設定をして、つくりたい未来に向けたアクションの実行から学ぶ、自己探究・地域探究に特化した実践型探究学習です。

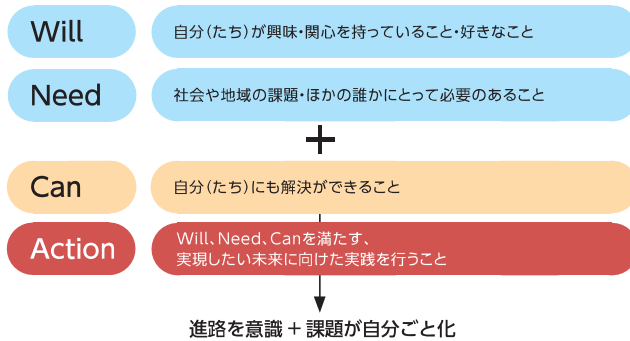


小さくても実際に起こす「アクション」を通じて、今まで経験のないことへ挑戦し、正解のない問題に向き合います。その経験を客観的に「振り返り」することで、学びの定着と次の成長につなげるというサイクルを描きます。

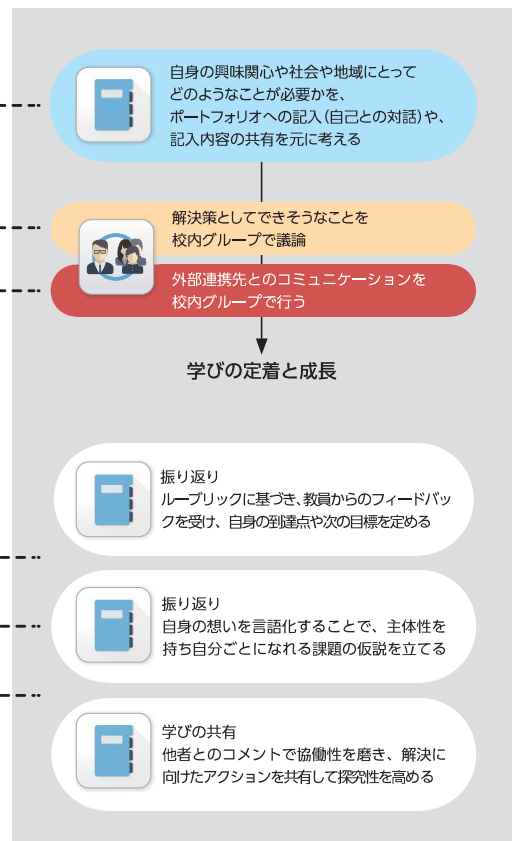
マイプロジェクトサポートの特徴

特長 1 | 進路につながる「自分ごと」の課題を設定できる

◆マイプロジェクトのプロセス

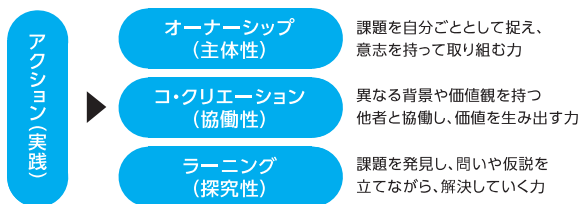


特長 3 | Classiを通じた「振り返り」と「学びの共有」を行うことができる




特長 2 | 「アクション」を伴う探究活動で資質・能力を育成できる

◆マイプロジェクトで培われる力



教材構成

探究テーマの設定から具体的なアクションまでをサポートするコンテンツ・ワークシート・動画などで構成しています。マイプロを「つくる」ことを支援する「体験版」・マイプロを「やってみる」ことを支援する「実践版」を同時にリリースします。



①教員向け/マイプロジェクトサポートBOOK for Teachers

②生徒向け/マイプロジェクトサポートBOOK for Student

③先輩の事例集(動画付き)

④ループリック

⑤ポートフォリオ



⑥生徒向け/アクションサポートBOOK ※実践版のみ

⑦外部連携者向け/マイプロジェクトハンドブック ※実践版のみ

⑧校内発表会実施教材、マイプロジェクトアワード地域Summit 参加権 ※実践版のみ

⑨マイプロジェクト研修会 ※実践版のみ

体験版・実践版の違い

体験版は、Classiご採用校であれば、お申し込みをせずに利用可能です。

Classi内から実践版より抜粋した教材のデータや先輩発表動画をご利用いただけるようになります。

実践版はClassiご採用校向け有償オプションです。生徒用・先生用教材が冊子として送付されるほか、実際に探究活動を進めるためのサポートが充実しています。

項目		マイプロを「つくる」ことをサポートする体験版	マイプロを「やってみる」ことをサポートする実践版
おすすめしたい学校		「総探」へ一歩目を踏み出す学校 自分事となる課題設定をしたい学校	地域探究・自己探究をしたい学校 実践型探究をしたい学校 探究の発表の場が欲しい学校
お申し込み方法・価格		Classi ご採用校全校が利用可能 Classi 価格内で利用可能	Classi ご採用校連携サービス オプション提供価格：1,540円(税込) 生徒1人あたり
教材	教員	①マイプロジェクトサポートBOOK for Teachers	抜粋版をデータで提供
	生徒	②マイプロジェクトサポートBOOK for Students	抜粋版をデータで提供
	生徒・教員	③先輩の事例集(動画付き)	5本搭載予定
	生徒・教員	④ループリック	教員用・生徒用教材に搭載
	生徒・教員	⑤ポートフォリオ	Classi ポートフォリオにマイプロジェクト専用テンプレートを搭載
	生徒	⑥アクションサポートBOOK	—
	連携者	⑦マイプロジェクトハンドブック	—
場	生徒・教員	⑧校内発表会実施教材	—
	生徒・教員	⑧マイプロジェクトアワード地域 Summit 参加権	—
研修	教員	⑨マイプロジェクト研修会	—

体験版カリキュラム

15コマ分のワークを通じて、生徒一人ひとりが自身の「マイプロジェクト」を思い描くところまで進めることができます。

CHAPTER	WORK	内容	コマ数(目安)	
0	01	オリエンテーション	マイプロジェクトを行う意味について考える	1
	02	先輩の事例から考えよう	マイプロジェクトに取り組んだ先輩の話を通じて、探究サイクルを体験する	1
	Classiポートフォリオでのチャプター0振り返り			
1	03	My Will List 100	Will(興味・関心)から探究テーマを見つける	1
	05	SDGsから見つけよう	Need(必要性・課題)から探究テーマを見つける	1
	06	ニュースから見つけよう		
	07	地域課題から見つけよう		
Classiポートフォリオでのチャプター1振り返り				
2	08	探究したい課題を選ぼう	探究テーマの「つくりたい未来」や「気になる現状」から探究課題を設定する	1
	Classiポートフォリオでのチャプター2振り返り			
3	10	情報収集計画を立てよう	「つくりたい未来」を具体化し「気になる現状」を明確にするための問いを調査する計画を立てる	1
	11	図書やインターネットで調べよう	図書やインターネットなどで情報を収集する	1-2
	14	情報を整理・分析しよう	問いへの回答を整理した上で、探究課題の見直しを行う	1
Classiポートフォリオでのチャプター3振り返り				
4	15	アクションを決めよう	Can(実現可能性)を踏まえた上で、「つくりたい未来」の実現や「気になる現状」の解決につながるアクションを考える	2
	16	ストーリーボードで深めよう	アクションをストーリーボードに表現し、他者に発表してアドバイスやヒントをもらう	2
Classiポートフォリオでのチャプター4振り返り				
6	28	自分自身を振り返ろう	マイプロジェクトを通しての自身の変化を言語化する	1
	29	これからのマイプロ宣言	自分の興味関心を改めて確認し、これからのマイプロジェクトを考える	1
Classiポートフォリオでのチャプター6振り返り				

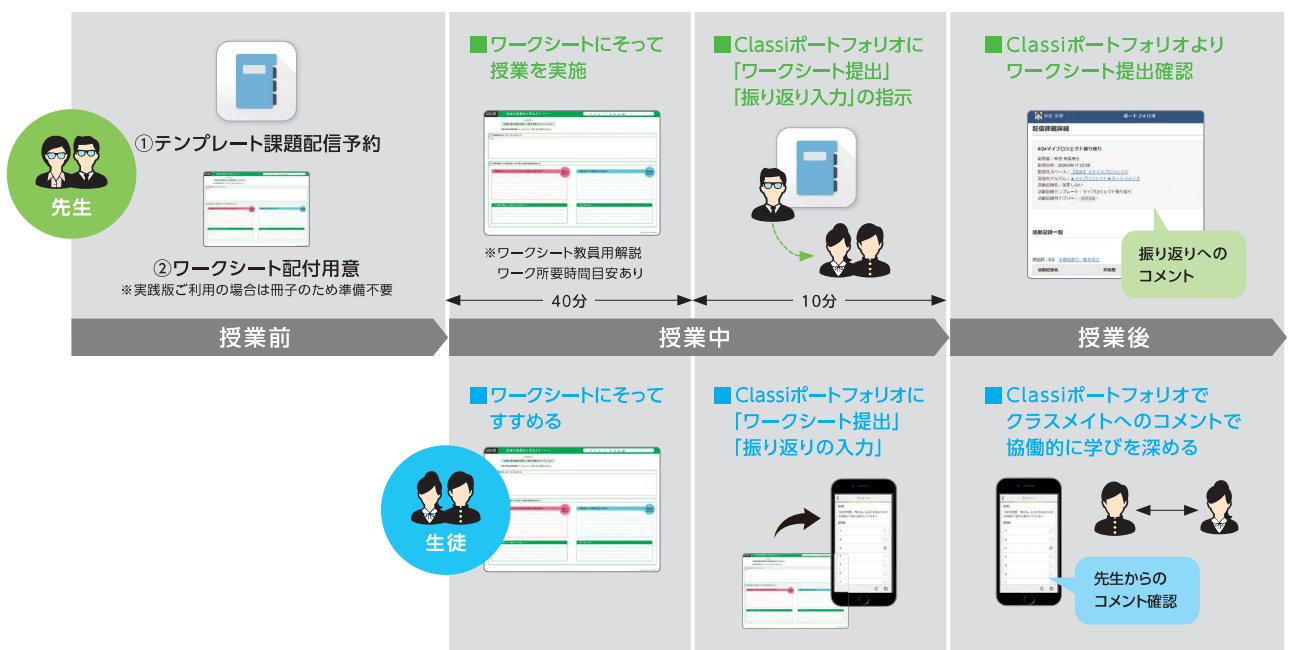
マイプロジェクトが
進路決定につながった
大学生のインタビュー
動画を視聴します

探究テーマ決定の
タイミングで、
文理選択や学部学科
選択に接続できます

生徒が新たな
マイプロジェクトを
宣言します。
志望校決定や
志望理由書に役立てる
ことができます

Classiポートフォリオ機能を使った授業進行イメージ

Classi上にワークシートと振り返りのテンプレートが搭載されているので、マイプロジェクトを容易に実施できます。



実践版カリキュラム

生徒が実際に課題に対してアクションをやってみることを実現するカリキュラムです。
「総合的な探究の時間」の授業コマ数に応じたカリキュラム設計が可能です。

CHAPTER	WORK	内容	コマ数(目安)	
0	マイプロジェクトとは	01 オリエンテーション	マイプロジェクトを行う意味について考える	1
		02 先輩の事例から考えよう	マイプロジェクトに取り組んだ先輩の話を通じて、探究サイクルを体験する	1
	Classiポートフォリオでのチャプター0振り返り			
1	マイテーマ探し	03 My Will List 100	Will(興味・関心)から探究テーマを見つける	1
		04 マッピングで見つけよう		1
		05 SDGsから見つけよう	Need(必要性・課題)から探究テーマを見つける	2
		06 ニュースから見つけよう		
		07 地域課題から見つけよう		
Classiポートフォリオでのチャプター1振り返り				
2	課題の設定	08 探究したい課題を選ぼう	探究テーマの「つくりたい未来」や「気になる現状」から探究課題を設定する	1
		09 探究チームを結成しよう	マイプロジェクトに取り組むチームのマインドセットや目標設定をする	1
	Classiポートフォリオでのチャプター2振り返り			
3	情報の収集 整理・分析	10 情報収集計画を立てよう	「つくりたい未来」を具体化し「気になる現状」を明確にするための問いを調査する計画を立てる	1
		11 図書やインターネットで調べよう	図書やインターネット、アンケートやインタビューなどで情報を収集する	3
		12 アンケートをつくらう		
		13 インタビューをしよう		
		14 情報を整理・分析しよう	問いへの回答を整理した上で、探究課題の見直しを行う	1
Classiポートフォリオでのチャプター3振り返り				
4	アクション	15 アクションを決めよう	Can(実現可能性)を踏まえた上で、「つくりたい未来」の実現や「気になる現状」の解決につながるアクションを考える	2
		16 ストーリーボードで深めよう	アクションをストーリーボードに表現し、他者に発表してアドバイスやヒントをもらう	2
		17 ものづくり計画を立てよう	もらったフィードバックを参考に、アクションプランを考える	1
		18 イベント計画を立てよう		
		19 アクションの準備をしよう①	それぞれがアクションに向けた準備を行う(1回目のアクション)	2
		20 アクションをしよう①	それぞれのフィールドでアクションする(1回目のアクション)	2
		21 アクションを振り返ろう①	アクションを振り返り、アクションを改善・修正する(1回目のアクション)	1
		19 アクションの準備をしよう②	それぞれがアクションに向けた準備を行う(2回目のアクション) ※2回目のアクションは課外で行う	2
		21 アクションを振り返ろう②	アクションを振り返り、アクションを改善・修正する(2回目のアクション)	1
Classiポートフォリオでのチャプター4振り返り				
5	まとめ・表現	22 探究課題を振り返ろう	設定した課題(仮説)に対して実際アクションしてみたことで、社会から得られた反応や結果、自分の考えの変化を振り返る	1
		23 論文で表現しよう①	論文や発表で表現するための情報を整理する	2
		24 発表準備をしよう		
		23 論文で表現しよう②	論文を書く、あるいは発表で使用するポスターやスライドなどの準備をする	2
		25 ポスターで表現しよう		
		26 スライドで表現しよう		
		23 論文で表現しよう③	論文を書く、あるいは発表をしたり聴いたりしたことによる学びを振り返る	2
27 マイプロ発表会				
Classiポートフォリオでのチャプター5振り返り				
6	次の探究へ	28 自分自身を振り返ろう	マイプロジェクトを通しての自身の変化を言語化する	1
		29 これからのマイプロ宣言	自分の興味関心を改めて確認し、これからのマイプロジェクトを考える	1
	Classiポートフォリオでのチャプター6振り返り			

先生向け教材例

WORK

02

先輩の事例から考えよう

先輩の事例を使ってマイプロジェクトをイメージする方法を紹介します。

● 使用するワークシート

02_1 概要シート

02_2 まとめシート

○ 使用する付録

先輩の事例動画

先輩の事例集

※「サポート BOOK for students」p. ●-●

マイプロジェクトに取り組んだことのある先輩の事例動画（「全国高校生マイプロジェクトアワード」での発表動画）を見ながら、マイプロジェクトの流れを追体験するワークです。

マイプロジェクトの具体的なイメージを持つことで、実際にマイプロジェクトを進めていく上でのマインドセットができます。

先輩の事例動画



※視聴は <https://youtu.be/9K8vxV00pjQ> または右記の二次元バーコードより可能です。



※視聴は <https://youtu.be/iS2e5pkY2JA> または右記の二次元バーコードより可能です。



二次元バーコード・URLより、事例動画をご覧いただけます。

また、動画の内容を補足する資料として、動画内のマイプロジェクトを解説した先輩の事例集（「サポート BOOK for students」p. ●-●）も活用いただけます（上記以外の動画もご覧いただけます）。

ワークの流れ

STEP.1 : ⌚ 5分

02_1 概要シート を見ながら説明を聞く。

STEP.2 : ⌚ 10分

先輩の事例動画 「郷土～ふるさと～の水にチャレンジ」を聞きながら
02_2 まとめシート に記入する。

STEP.3 : ⌚ 10分

先輩の事例動画 「全国に防災意識を広める」を聞きながら
02_2 まとめシート に記入する。

STEP.4 : ⌚ 15分

先輩の事例集 を参考にしながら 02_2 まとめシート に記入する。

STEP.5 : ⌚ 10分

02_2 まとめシート に記入した内容を少人数のグループで共有する。

先生は、ワーク解説に記載されている「ワークの流れ」を目安に、時間を計りながら進めることができます。

別紙ワークシート解説には、ワークのねらい、進め方のアドバイス、そして、生徒の状況に応じた声かけ例を掲載。先生が授業を進めやすい工夫がされています。

生徒は冊子またはワークシートに沿って、マイプロジェクトを進めることができます。

\ ACTION! /

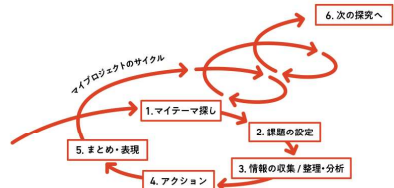
マイプロジェクトのサイクルを追体験しよう

先輩のマイプロジェクトの事例を動画で見ながら、マイプロジェクトのサイクルを追体験します。
まずは、マイプロジェクトがどんなサイクルで進んでいくのかを改めて確認しましょう。

マイプロジェクトのSTEP

マイプロジェクトのサイクルは、STEPを行ったり来たり、繰り返したりしながらも、下記のような6つのSTEPで進んでいきます。それぞれのSTEPで行うことと、その際のポイントは下記の通りです。

- STEP 1** **マイテーマ探し**
自分と密接なつながりのある課題を見つけるために、多様な観点で自分や社会・地域を知る必要があります。そこで、右の「Will」と「Need」の観点からマイテーマを探します。
- STEP 2** **課題の設定**
見つけたマイテーマについて考えた、「つくりたい未来」を実現するには? 「気になる現状」を解決するには? という問いが、探究課題になります。
- STEP 3** **情報の収集・整理・分析**
「つくりたい未来」を具体化し、「気になる現状」を理解するための情報を収集し、整理・分析します。情報収集には、図書やインターネット、アンケートやインタビューなど、様々な方法があります。
- STEP 4** **アクション**
右の「Can」の観点を踏まえながら、「実現する、あるいは「気になる現状」をアクションプランをつくり、実際にやります。アクションには下記のような



- 目的
- 魅力化 : 何かをよりよいものにする
 - 普及啓発 : 何かを伝える・知らせる
 - 支援 : 課題を抱えている人を直接助ける

STEP 5~6 **アクション**
探究課題に対する気付きや発見、自己表現には、論文やポスター、スライドをさらに、マイプロジェクトを通じた自己表現

(※1)「つくる編」では「アクションプラン作成」までを行います

\ ACTION! /

マイプロジェクトのサイクルを追体験しよう

先輩のマイプロジェクトの事例を動画で見ながら、マイプロジェクトのサイクルを追体験しましょう。
1つの事例につき1枚記入してください。

1 先輩はどんなマイプロジェクトに取り組んだのか、先輩の事例を聞きながら内容をまとめましょう。

プロジェクト名

STEP 1 マイテーマ探し	興味・関心を持っていたこと・好きなこと	注目した、社会や地域の課題・ほかの誰かにとって必要のあること
STEP 2 課題の設定	こうだったらいいのに、と思った「つくりたい未来」	どうにかしなければ、と思った「気になる現状」
STEP 3 情報の収集・整理・分析	収集した情報や調査方法	情報収集の結果わかったこと
STEP 4 アクション	アクションの内容や実現方法	アクションの結果
STEP 5~6 まとめ・表現、次の探究へ	プロジェクトを通しての学び	今後の展望（次に取り組みたいこと）

実践版のご紹介

特長 1 生徒向け冊子・教員向け冊子をはじめ、
マイプロジェクトを実践する教材・アイテムが充実しています。

特長 2 アポイントの取り方をはじめとした実際にアクションを進めるために
必要な情報を徹底的にサポートしています。



アクションのバリエーションや進め方の
解説をもとにアクションプランを立案



アポイント先に対して取り組み概要や
依頼内容を外部連携者向けマイプロジェ
クトハンドBOOKで説明



アポイントの取り方やメールの送り方
などをアクションサポートBOOKで解説



外部でのアクション内容をClassiポートフォ
リオのテンプレートや校内グループで共
有し、お互いにアドバイスをして深める

特長 3 校内発表会実施教材および、
「学びの祭典 マイプロジェクトアワード 地域Summit」の参加権が付いています。

校内発表会
〈実施教材〉

団体・学校や基礎自治体単位で開催。
2020年度は90団体が開催。

※各ステージで選ばれた高校生を、次のステージへ招待

地域 Summit

※こちらの参加権を付与

地域ブロック・都道府県単位で開催。
2020年度は16地域で開催。

全国 Summit

主体性・協働性・探究性を評価し、
最高賞として文部科学大臣賞を授与。

校内発表会実施教材

発表会を充実させるサポートコンテンツも充実しています

- 発表会投影スライド ●ムービー、BGM ●運営ガイド
- 発表評価シート ●外部評価者概要説明資料 ●発表振り返りワークシート

2019年度 マイプロジェクトアワード参加実績

多くの高校生が毎年参加しています

高校生 **8,765**人(2,654プロジェクト) 学校数 **328**校

◆ 実際の例



Kさん(現・九州大学共創学部2年生)
実際に社会とつながる経験をし、現在は
大学で多様な人を巻き込んだ地域
活性の在り方を学ぶ

マイテーマ
探し

自身の「気になること」からテーマを設定

探究の授業を通して、地元が人口減少によって消滅可能性都市にも名が挙がっていることを知り、ショックを受けた。地元の誇りである温泉を盛り上げることで、人口減少の危機から救えないかと考えた。

アクション

つくりたい未来に向けたアクションを実行

温泉をより多くの人に知ってもらいたいという想いから、温泉水と水鉄砲をコラボしたイベントを開催したり、ひとつひとつの温泉にキャッチコピーをつけてパンフレットにまとめ、配布したりした。

次の探究へ

地域の過疎や活性化に興味を持ち、大学へ

プロジェクトを通して、地域の過疎と活性化に興味関心を持つ。より多くの若者に地域・社会づくりへ関わって欲しいという想いから、自身の視野を広げるべく、多様な分野を学べる新設学部に入試で進学。

KATARIBA とは？

認定NPO法人カタリバ。2001年設立。複数の自治体や高校、全国の先生方の探究活動へ伴走し、日本最大規模の探究的な学びの祭典「マイプロジェクトアワード」を企画

2020年度 探究学習支援
5自治体 4高校 連携団体 440団体

マイプロジェクトアワード延べ参加人数
(2013年度～2019年度) 15,504名



お問い合わせ先

Classi サポートデスク

「Classi」に関するお問い合わせを承ります。

TEL **0120-755640** 通話料無料

受付時間/月～金 8:00～19:00 ± 8:00～17:00 日曜・祝日、年末・年始を除く

Classi サービスサイト

サービスに関する最新情報を掲載しております。URL <https://classi.jp>